

ヒロハヘビノボラズ

【 *Berberis amurensis* 】

科名 メギ科

属名 メギ属

薬効・用途

木部を苦味健胃薬とするほか、煎汁を洗眼料として眼の炎症に用いる。材は黄色で寄木細工に用いられた。この黄色はキハダの樹皮やオウレンの根にも含まれるベルベリンの色である。



・花期：5～6月

備考

落葉低木。北海道から九州、朝鮮、中国、アムールに分布する。メギ科のメギ（目木）は目の病気に用いることに由来する。ヒロハヘビノボラズ（広葉蛇上らず）は葉が広く、茎に鋭い刺が生えているため、蛇には登れないだろうと言う意味である。ベルベリンはメギの属名ベルベリスから名づけられた。両性花。